

教科	地理歴史	科目	日本史探究	開講学期	通年	単位数	4	試験	前期・後期
タイプ	Ⅳ	レポート数	12	スクーリング必要時数		4	スクーリング実施時数		14
教科書(発行者)		日本史探究(東京書籍)							
補助教材(発行者)		日本史探究学習書(NHK出版)							

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方考え方を課題を追求したり解決したりする事により身につけて、広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することをめざす。		
	1 知識及び技能	2 思考、判断、表現等	3 学びに向かう力、人間性等
	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的に捉える。</li> <li>諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する。</li> <li>歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</li> </ul>

評価の観点及びその趣旨	1 知識・技能	2 思考・判断・表現	3 主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら、総合的に捉えて理解する。</li> <li>諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、その理由とその後の歴史に与えた影響を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探求しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚から、他の歴史的背景を持つ人との関わりについて、どのようにあるべきかを考えて自分の答えをまとめる。</li> </ul>

単位認定	全レポートの合格、スクーリングの必要時数以上の出席及び定期試験合格(30点以上)で単位を認定する。
評価の方法	評価はレポート、スクーリング及び試験により総合的に行う。

学期	レポート	学習内容	スクーリング	試験
前期	第1回	古代国家の経営と文化の展開	第1回	前期
	第2回	律令国家の形成と古代文化の展開	第2回	
	第3回	摂関政治と武士の政治進出	第3・4回	
	第4回	武家政権の成立と朝廷	第4・5回	
	第5回	武家支配の広がりと国際交流	第5・6回	
	第6回	ヨーロッパ文化との接触と国内統一、幕藩体制の確立	第6・7回	
後期	第7回	近世社会と幕藩体制	第8回	後期
	第8回	近代社会の幕開け	第9回	
	第9回	立憲政治の形成と国民文化	第10・11回	
	第10回	デモクラシーと市民文化激動する世界と日本(Ⅰ)	第11・12回	
	第11回	激動する世界と日本(Ⅱ)	第13回	
	第12回	高度経済成長～新しい国際秩序と日本の課題	第14回	